

教育目標 豊かな心を持ち たくましく実践する生徒

学校だより

じょうとう

令和4年3月18日発行
第11号

上越市立城東中学校 TEL : 025-522-1168 FAX : 025-522-1169
URL <http://www.joto.jorne.ed.jp/> (文責) 教頭 加藤一彦

強く、たくましく

校長 市川 茂明

今年も旅立ちの季節となりました。当校では、3月7日に卒業証書授与式を挙行しました。次のステージへの希望を胸に、若者は堂々と晴れやかに旅立ちました。百年に一度と言われる感染症のパンデミック。学校生活が制限され、これまでとは違う中学校生活を過ごした卒業生たち。何の制限もない楽しい学校生活を送らせてやりたかった。せめてマスクを外して笑い合ってほしかった。これで良かったのか、もっとやれることはなかったのかと、過去を振り返り自問自答を重ねました。どんな言葉でこの愛しい生徒たちを送り出してやれるのか悩みました。

迎えた当日、そんな心配もよそに、式に臨む卒業生の態度は立派でした。凜とした礼法、証書授与での返事、そして卒業合唱の歌声と、一つ一つの行動や所作から、学校やお世話になった方々への感謝が伝わり、感動的な卒業式となりました。健気にひたむきに頑張り、晴れ晴れとした表情で巣立つ生徒たちの姿に涙が溢れました。そこにはコロナ禍を恨んだり、悔やんだりする後ろ向きの姿はありませんでした。できないことを嘆くのではなく、今できることを精一杯やる、そんな卒業生の前向きな姿に、私たちは大切なことを教えられました。

「私は、皆さんの姿を誇らしく思います。皆さんは自慢の生徒たちです。厳しい生活を2年以上も我慢しながら、立派に成長した170名の卒業生がいたことを、いつまでも、いつもでも語り継いでいきます。」と、式辞を結びました。

過去にこだわり、後悔しているのは、私たち大人だけなのかもしれません。子どもたちは、とっくに気持ちを切り替え、前を向き、強く、たくましく進んでいるのです。逆境は人を強くすると言われます。卒業生の誇らしい表情からは、一段と成長した頼もしい姿がありました。きっと新たなステージで大きく羽ばたき、いずれこの地域を背負って立つ大人へと成長することでしょう。

生徒が旅立つとき、成長した姿を前に、涙を流すことができなくなったら教職も辞めどきと覚悟しています。でも今年も溢れ出す涙をマスクで隠し、まだ続けられそうかなとしみじみ思いました。生徒たちから多くのことを学び、勇気付けられた感動的な卒業式は幕を閉じました。

さて、まもなく終業式を迎えます。今年度も新型コロナウイルスと向き合う日々が続き、たいへんな1年間でした。それでも保護者や地域の皆様のご理解、ご協力のおかげで、何とか令和3年度を終えることができそうです。皆様に心より感謝申し上げますとともに、次年度もチーム城東の一員として変わらぬお力添えをいただきますようお願い申し上げます。



令和3年度 第42回
卒業証書授与式

